

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 美浜町

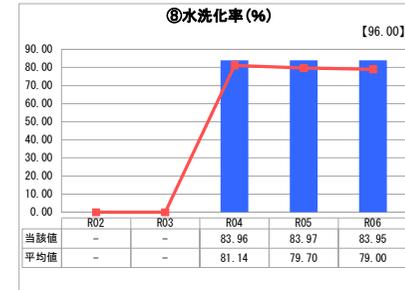
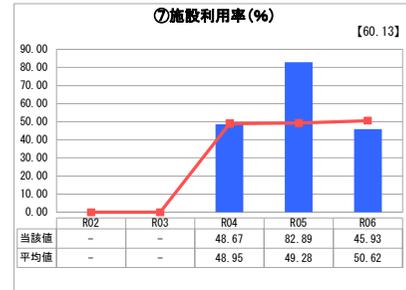
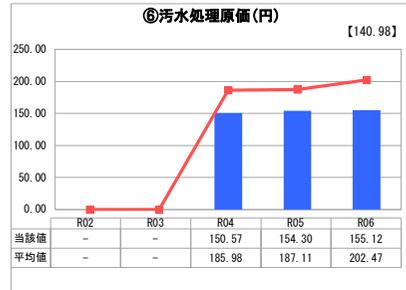
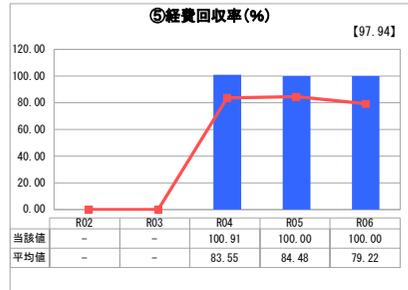
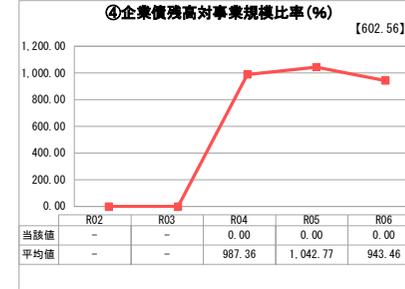
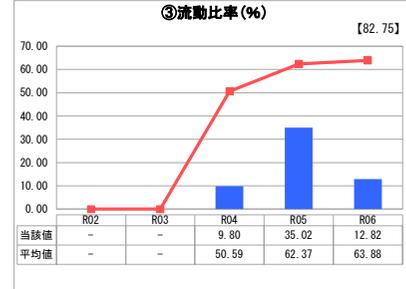
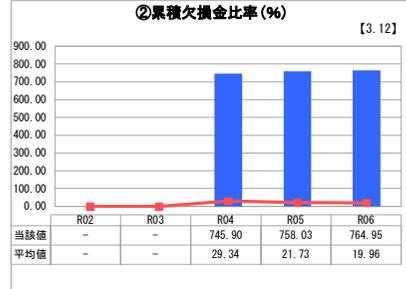
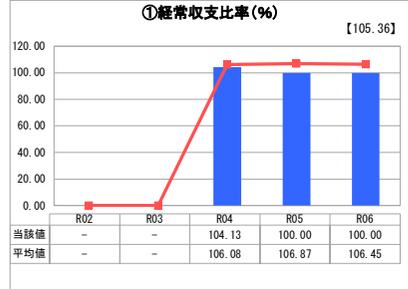
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	44.91	43.88	112.30	2,863

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
6,324	12.77	495.22
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
2,741	0.99	2,768.69

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

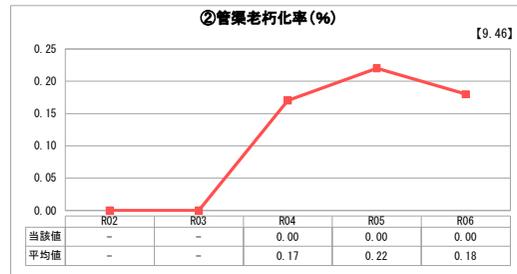
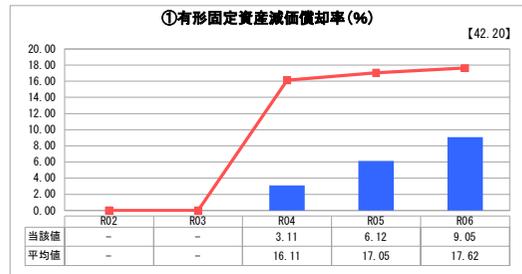
1. 経営の健全性・効率性について

本町の公共下水道事業は、平成28年度をもって管渠の整備が完了した。
 ① 経常収支比率、⑤ 経費回収率とも100%である。
 ② 累積欠損金比率は、当年度純損失はないが、令和4年度からの法適化により前年度未処理欠損金があり、数値が計上されている。
 ③ 流動比率は事業完了が平成28年度であり、企業債償還が残っているためである。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債を全額一般会計からの繰入で賄っているため、0である。
 ⑥ 汚水処理原価は、平均を下回り安価であるが、計画的な機械設備の更新や修繕等を行い、より一層経営努力していく。
 ⑦ 施設利用率は昨年に比べて減少し⑧水洗化率は、管渠の整備が完了して5年以上経過しているため、前年度と比較してほぼ横ばいとなっている。総じて改善しなければならない部分は経営努力にてカバーしていきたい。

2. 老朽化の状況について

松原浄化センターは平成17年度に供用開始以来、約20年が経過し、施設内及び各マンホールポンプ設備の故障等が発生する場合もあるが、日頃の施設管理の中で保守管理に重点を置き、また、各設備類の耐用年数等を考慮し、オーバーホールや更新をし対応する。

2. 老朽化の状況



全体総括

1) 平成28年度に管渠の整備が完了し、施設等の維持管理が主流となっている。
 2) 今後は業務の効率化に努め、より汚水処理原価を抑えるとともに経営努力し、経費率をさらに改善していきたい。
 3) これらの取り組みを通じて経営基盤を強化し、将来必要となってくる管渠の更新に備えたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。